

各 位

上場会社	菊水電子工業株式会社
代表者	代表取締役社長 小林 一夫
(コード番号)	6912)
問合せ責任者	常務取締役管理本部長 齋藤 士郎
(TEL)	045-482-6912)

平成 31 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 31 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績について、平成 30 年 5 月 11 日に公表した業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

●業績予想と実績値との差異について

平成 31 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	3,750	100	110	80	9.58
実 績 値 (B)	3,930	181	187	98	11.82
増 減 額 (B - A)	180	81	77	18	
増 減 率 (%)	4.8	81.7	70.5	22.8	
(参考) 前第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	3,517	82	85	74	8.86

差異の理由

当社グループが属する電気計測器業界においては、当社グループの重点市場である次世代自動車関連市場では、E V (電気自動車) や先進安全自動車及びこれらに関わる市場からの電気計測器の需要は増加傾向にありました。また、冷凍空調市場では、A I (人工知能) や I o T (モノのインターネット) を活用したシステムの省力化・自動化等高付加価値化への取り組みに対する設備投資は堅調であり、製造業全般では、設備投資の動きは緩やかに回復しております。

このような状況の中、当社グループは次世代自動車関連市場、環境・エネルギー関連市場及び冷凍空調市場を中心に顧客ニーズに合わせたソリューション提案営業を積極的に展開し、また、販路開拓活動と研究開発活動を行うと共に、原価低減と経費節減にも努力を重ねてまいりました。

この結果、売上高は前回予想を上回ることとなりました。

損益面につきましても、売上高が前回予想を上回ったことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも前回予想を上回る結果となりました。

なお、平成 31 年 3 月期通期の連結業績予想につきましては、現時点において修正はありません。今後の事業の進捗状況に応じて、修正が必要と判断した場合には速やかに公表いたします。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以 上